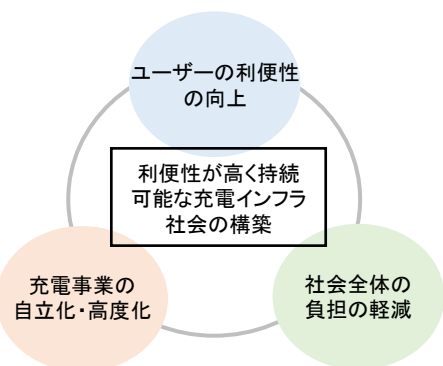


- ◆ 国では、EV用充電インフラの整備促進に向けて、戦略的な数値目標を設定
 - ・ **【充電器設置数】** 2023年:3万口(うち急速充電器9千口) → 2030年:30万口(うち急速充電器3万口)
 - ・ **【急速充電器の高出力化】** 2023年:平均出力40kW → 2030年:平均出力80kW
- ◆ 徳島県の状況は、充電器の設置数は全国46位(207口)、EV(軽自動車除く。)の普及率は全国36位(0.2%)
- ◆ 県としても、**充電インフラの整備とEVの普及は車の両輪としてバランス良く進めていくことが必要**
 - ・ 充電インフラについては、充電インフラが整備されていない「空白地域」が発生しているため、**効果的かつ効率的な整備が必要**

国の方針

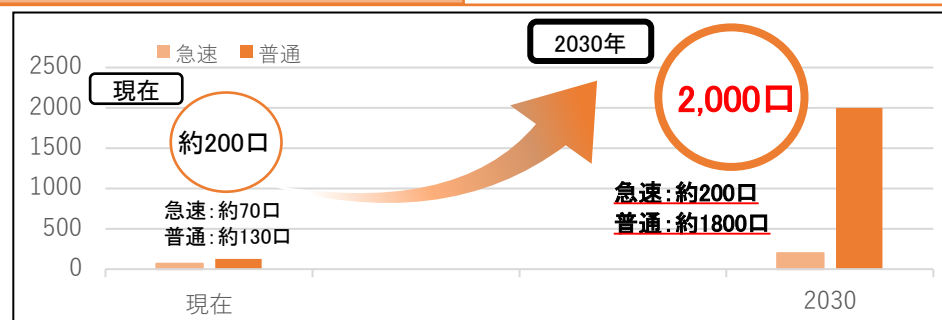
充電インフラ整備における原則



具体的な指針

- **充電器の総数を10倍** (3万口→30万口)
- 道の駅、公道、SS、コンビニ、ディーラーでは**最低50kW以上の出力**を確保
- 普通充電器は、目的地充電に加え、**基礎充電や経路充電の機能を一部補完**
- 一般国道においては隣接充電器までの距離が**概ね40km以上**となる区間を減らす

県の整備目標



整備目標

現在(令和5年時点)、約200口ある充電器を
2030年までに2,000口(急速充電器200口、普通充電器1,800口)を整備

急速充電器(経路充電・目的地充電) **200口(+130口)**

経路充電			目的地充電
高速道路	交通拠点	空白地域	商業施設
<ul style="list-style-type: none"> SA、PA 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅 ガソリンスタンド 	<ul style="list-style-type: none"> 充電インフラが整備されていない空白地域やその周辺にある施設 	<ul style="list-style-type: none"> 滞在時間が短い商業施設(スーパー、自動車ディーラー等)

普通充電器(目的地充電) **1,800口(+1,670口)**

目的地充電			
宿泊施設	観光施設	商業施設	公共施設
<ul style="list-style-type: none"> ホテル 旅館 等 	<ul style="list-style-type: none"> 遊戯施設 飲食施設 等 	<ul style="list-style-type: none"> 滞在時間が長い商業施設(大型複合施設等) 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館 運動公園 病院 等

県の方針

- ・ 国の目標に準じ、**県内の充電器の総数を現在の10倍まで整備**
- ・ 主に経路充電、目的地充電を対象に、**基礎充電を補完する形で整備を推進**
- ・ 整備場所の特性に応じた充電設備(急速・普通)を配置
- ・ 隣接充電器までの距離が**概ね40km以上**となる区間を減らし、空白地域を解消

自宅・事業所

移動途中

目的地

①基礎充電

車を使わない時間帯での充電



- 駐車時間目安: 8~12時間
- 主な設置場所: 住宅、事業所など

②経路充電

目的地までの移動途中での充電



- 駐車時間目安: 30分以下
- 主な設置場所: 高速SA/PA、道の駅、コンビニなど

③目的地充電

一時的な滞在先での充電



- 駐車時間目安: 概ね1時間以上
- 主な設置場所: 商業施設、宿泊、レジャー施設など